

求める会ニュー入 No. 888

明けましておめでとうございます。

雪の降る寒いお正月でしたが、みなさんはどのように迎えられましたか。わたしは身内のもので8人で賑やかにおせちを囲むことができました。済んだ一年、とりあえずはつつがなく過ごせたことを感謝し、新しい一年が無事であることを願いました。

震災から20年

今年、阪神・淡路大震災から20年になります。

20年前の1月17日、求める会でも大きな被害を受けました。無くなられた会員、家族を亡くされた方、家屋が全壊・半壊した方、けがで入院した方。求める会は、そのエリアが震災の範囲とほぼ重なっていて、ほんとに大揺れでした。

そんな中、市有研をはじめ求める会が提携している生産者の方々から、いち早い応援の手を差し伸べていただきました。

水、おにぎり、ゆでた卵、洗った野菜、牛乳、みかん、リンゴなどの応援物資とたくさんのカンパ……。軽トラックに自転車を積んできて、配れる範囲の会員に物資を配ってくださったとも聞いています。

この厳しい体験の中で私たちが学んだことは、都市生活は食べるものが店から消えたとき、なんと弱いものだろうか、ということでした。そして同時に身に染みて教えられたことは、食べるものを作る生産者と近い関係でつながっていることの心強さでした。距離の近さは何よりですが、関係の近さの大切さも改めて感じたのです。

「毎日が投票日かもしれない」

読まれた方もおられると思いますが、先日の朝日新聞(2015.1.3)の「ザ・コラム」欄に標記の題の文章が載っていました(稲垣えみ子編集委員)。

「何のことや?」と思って読んでみました。稲垣さんが年末の総選挙についていろいろ



考えながら選んでいたある日、近所の雑貨店でこんな貼り紙を見た、というのです。

「お買い物とは、どんな社会に一票を投じるかということ。」

それを読んで、ハッとしましたそうです。買い物=欲を満たす行為だとずっと思っていたのですが、確かにそれだけではない、お金という対価を通じてそれを売る人、作る人を支持し応援する行為でもある、つまり、ささやかな投票である、と。

一人一人が何を買い、日々をどのように暮らし、何を食べ……。ということを大事にしてそれをベースとして暮らすことをし尽して初めて意味のある選挙に結びつく。選挙で投票しさえすれば誰かがよい社会、よい暮らしを実現してくれるわけじゃない、と。以来、「お金=投票券」のつもりでお金を使っているということでした。

読後すぐには、「ふーん」と思ったぐらいでしたが、だんだんとこの記事が気になり出し、また新聞をひっくり返して探し出し、1、2度読み返してみました。

「一票」で未来を選ぼう

そして気が付いたのですが、この稲垣さんの考え方とし始めたことは、私たちが求める会で考えてきたこと、してきたこととそっくりではないか、ということでした。

私たちが、安全なもの本物をと心がけて作る生産者の農産物や調味料などを買うことは、子や孫の生きる未来にどんな社会を願っているかの選択の一票でもあるということでしょう。

そしてまた、こうして築いてきた作る人との近い関係が、食べるものが無くなった時、私たちを支えてくれるものだということも、この節目の年にもう一度意識しておきたいと思ったのでした。(代表 飛田みえ子)

12月全体会報告
12月17日(水) 10:00~12:00

【生産者担当】

★野菜

- ・橋本さん：災害の為作付けが遅れ、白菜は年末から出荷。大谷さん：葉物も良く育ち順調。一色さん：例年通り順調。
- ・野菜の30%は橋本、大谷さん。60~70%は一色さん。災害の後片付けは行政に拠るので整備もままならないのが現状(橋本、池野さん)
- ・気温が高く大根が大きく成長してしまった。
- ・年末、年始の添乗：12/23(火)橋本さん。1/9(金)一色さん。

★米

- ・高木さん：田の土作り、他の仕事も忙しい。
- ・池野さん：田の土作りと鹿が入らないよう柵を作っている。
- ・1月のお米は豊岡の橋本さんです。

★牛乳

- ・生産者の永井さん、細見さん、吉竹さんが辞められた。
- ・株式会社丹波乳業は吉田さんが社長に就任し、また酪農もされパスマの生産も始めたが非遺伝子組み換え飼料が高価なので、赤字になる為、代金を10円でも上げてくれれば生産者は助かる(今後の値上げはやむ得ない)。消費量を増やして欲しい。
- ・低温殺菌牛乳の良さを知ってもらい消費量を増やす努力したい。
- ・ヨーグルトの箱と中身の差：今の充填機ではこの箱でしか充填できない。

★牛・豚肉

- ・牛肉年始の配送日：1/13(火)、1/22(木)、1/9(金)
- ・豚肉年始配送日：1/20(火)、1/8(木)、1/16(金)

★果物

- ・みかん：雨が多く皮が浮き気味で大きい。豊作なので、4回目から1割増量します。レモンが不作の為、代りにゆずをいれた。レモン終了。
- ・りんご：ふじ配送中。

【会員担当】

- ・40周年感謝パーティの感想：参加者83名、子供3名。もう少し交流の時間が持ちたかった。会員の料理力が素晴らしい。
- ・40周年記念会計報告：4面記載

【事業部】

- ・ワーキング丹波のパン：材料費の値上がりで食パンは300円が400円に。菓子パンはそのまま。
- ・もみじ紅茶：材料費の値上がりで200g1300円が100g1200円になった。
- ・注文書の味噌の材料訂正：塩800gは500gの間違いです。作る時に気をつけて下さい。
- ・生しいたけ：1パック600円。市島の太田さんが出席。就農6年。原木しいたけ(春秋)の出荷は自然相手の為不安定。米、麦、野菜の生産をしている。

【広報】

- ・求める会ニュース1月の印刷日は1月15日(木)

【学習・研究担当】

- ・12/12(金)：大豆畑トラスト、豆腐、納豆作り。大豆が早く成長し、弾けてしまうので予定を早めにした。(求める会ニュース887号3面)
- ・ホームページリニューアル、ブログ等作成：作成をお願いしていた宮島さんが11月に出産され、休養中。2月にはアクトラインが出来そうです。

・福島支援

- 10月、11月に小松さんのりんご、12/4に一色さんの野菜、横山さんがみかんを送りました。

【会計】

- ・一般会計の郵便局講座に外部から振り込みが可能なので返金などのある時にはこの口座に入れて下さい。(問い合わせは事務局)

【渉外・庶務】

- ・12/13(土)兵有研設立総会(研究学習部)総会：団体会員として登録。出席
- ・12/7(日)日有研交流会
- ・2/14(土)提携フォーラムin関西：パネラー(星寛治さん、橋本慎司さん、愛媛生協)
- ・12/18(木)神戸YWCAガレッジカフェ(3回)：求める会参加、野菜、事業部の商品即売(求める会ニュース8873号2面)

【その他】

- ・市有研との話し合い：1/17(土)1:30~：神戸学生青年センター、スタジオ。
- ・部会：1/14(水)10:00~14:00
- ・全体会：1/21(水)10:00~12:30
- ・1月食料環境セミナー：1/28(水)10:30~12:00
シリーズ「これからの農業を考える」が始まります。会員の方の参加が最近少なくなっています。ぜひ参加して下さい。

食料環境セミナー報告

12月10日(水) 10:30~12:00

「サプリメントの実力」

武庫川女子大学薬学部教授 篠塚和正さん

篠塚先生より健康食品について、医薬品について総合的なお話を伺いました。現代の世の中は、高齢化社会となり国民の健康志向が向上し、その結果健康食品の市場は1987年以後1兆円を超え、医薬品をしのぐ存在となっています。

国民の半数が健康食品を手にしたことがあり、またその半数が常用しているのが現実です。使用している6割の人は満足しており、4割の人は不満を感じているという統計があります。

不満の原因としては、

- ・ 期待した効果がない
- ・ 値段が高い

があげられます。ではその人たちは何を望み健康食品を手にするのでしょうか。

- ・ 体調の維持 ・ 健康増進 ・ 栄養素の補給
- ・ 疲労回復 ・ 老化防止 ・ ダイエット ・ 病気の改善

といったものです。しかし「効く」ということを健康食品に求めるのは問題です。テレビの宣伝は魅力的です。しかし元来医薬品に対する表現である「効く」ということがどれほど確かかわかりません。「効く」という言葉の本質を考えなければなりません。

医薬品においてできえ100%効く薬はありません。敢えていえば麻酔薬です。それ以外の薬はかなりの確率で人に効果がありますが、絶対ではありません。医者はそれをふまえて可能性の高いものからすすめていきます。人によって薬の合う、合わないがあるからです。データをもとにダメージが少なく有効性のあるものを模索するのです。今後遺伝子レベルの研究がすすめば、オーダーメイドの医療が行われ、もっと有効な医薬品が手に入るかもしれません。

今、一般的に薬の有効率は70%と言われています。ですから私たちは医師からもらった薬に

ついてどんな薬かを知っておく必要があります。ネットでPMDAと入れると医療用医薬品添付文書を見ることができます。薬の使用上の注意や臨床成績、薬効薬理といったものが記載されています。これは誰でも見ることができます。日頃からこういったものに目を向けて薬について知識をもっておくべきです。

次に健康食品についてですが、医薬品がプレイヤーなら健康食品はサポーターです。新たな保健機能食品の一つとして、機能性表示食品が加わりますが、これは企業の責任で表示し、国は書類上のチェックはするものの安全性や機能性などの科学的な審査はしないことになっています。

はたして健康食品といわれるものの実力とはいかなるもののでしょうか。コラーゲン、DHA、ヒアルロン酸、コエンザイムQ10、くろ酢、アロエ等。国立栄養研究所での注目度の高い健康食品をみても有効性の認められるものもあれば認められないものもあります。例えばコラーゲンは外科手術では有効であるし、ヒアルロン酸は関節注射には効果があります。しかし両者とも経口摂取した場合ほとんど効果は無いと思われま。健康食品サプリメントの有効率はわからないといえます。

私たちが健康食品を利用するにあたって大切なことは、食品成分の有用性と安全性に関する科学的根拠や相互作用に関する情報を得て、品質に関して信頼性がもてるか十分にチェックする必要があります。同時に私たちの健康を支える基本は、運動、栄養、十分な睡眠、という環境によるところが大きいことを認識することが最も重要と述べられました。

(鶴甲団地G 小浦節子)

次回食料環境セミナー

1月28日(水) 10:30~12:00

「国際家族農業年と人びとの食料主権」

愛知学院大学経済学部経済学科講師

関根 佳恵さん